

平成 29 年度

公益社団法人

高知県診療放射線技師会総会

日 時 平成 30 年 6 月 17 日 (日)

15:00 開会
17:00 閉会

場 所 総合あんしんセンター 3F 大会議室
高知市丸の内 1-7-45
TEL 088-872-4585

公益社団法人 高知県診療放射線技師会

◆◆◆ 総会資料目次 ◆◆◆

開　会　の　辞
会　長　挨　拶
勤続25年表彰
高知県診療放射線技師会学術奨励賞表彰
総会運営委員会報告
議　長　選　出
総会職員任命
議　　　　事
　　第1号議案　①平成29年度事業報告
　　　　　　　②平成29年度決算報告
　　第2号議案　平成29年度監査報告
　　第3号議案　①平成30年度事業計画
　　　　　　　②平成30年度收支予算
　　第4号議案　その他

新入会員紹介
閉　会　の　辞

※受付 13:30

①平成29年度事業報告

第1号議案

1. 会員の動向（平成30年3月31日現在）

新入会員	2名	
氏 名		勤務先
横田 珠美（ヨコタ タミ）		グリーンハウスクリニック
池 央（イケ アキラ）		
		近森病院
会員異動		
転 入	1名	
柴枝 達也（サカエダ タツヤ）		高知大学医学部附属病院
現在会員数		
正会員	209名	賛助会員（団体） 9社
(名誉会員 2名含む)		

2. 表彰

高知県診療放射線技師会25年勤続表彰

大石 孝正	高知県立幡多けんみん病院
廣瀬 泰久	高知医療センター
竹内 実	近森病院
岡林 史朗	高知県立幡多けんみん病院

学術奨励賞

萩野 孝弥	もみのき病院
-------	--------

3. 会議

【総会】

平成29年6月18日（総合あんしんセンター 大会議室）

【理事会】

- ① 平成29年 5月13日（本会事務所 会議室） 13名（事業報告書と決算報告書の承認）
- ② 平成29年 6月18日（本会事務所 会議室） 18名（代表理事選任と事業計画の検討）
- ③ 平成29年 8月26日（本会事務所 会議室） 14名（地区の体制と活動計画の承認）
- ④ 平成29年10月21日（本会義務所 会議室） 14名（来年度事業計画の検討）
- ⑤ 平成30年 1月 6日（本会義務所 会議室） 15名（高知県学術大会の承認）
- ⑥ 平成30年 3月10日（本会事務所 会議室） 18名（収支予算書・事業計画書の承認）

【常務理事会】

- ① 平成29年 4月 4日（本会事務所 会議室）
- ② 平成29年 5月 2日（本会事務所 会議室）
- ③ 平成29年 6月 6日（本会事務所 会議室）
- ④ 平成29年 7月 4日（本会事務所 会議室）
- ⑤ 平成29年 8月 1日（本会事務所 会議室）
- ⑥ 平成29年 9月 5日（本会事務所 会議室）
- ⑦ 平成29年10月10日（本会事務所 会議室）
- ⑧ 平成29年11月 7日（本会事務所 会議室）
- ⑨ 平成29年12月 5日（本会事務所 会議室）
- ⑩ 平成30年 2月 6日（本会事務所 会議室）
- ⑪ 平成30年 3月 6日（本会事務所 会議室）

4. その他、本会の動き

平成29年	4月 5日	市民税免税申請（高知市役所市民税課）
	4月 25日	表彰委員会・期末監査（潮江高橋病院）
	5月 25日	RFL第1回実行委員会（高知県庁）第2回以降省略
	5月 27日	第1回中四国会長会議・CS9会議（徳島）
	6月 2日	日本診療放射線技師会創立70周年記念式典（東京）
	6月 3日	日本診療放射線技師会定時総会（東京）
	6月 21日	新執行部登記申請（高知法務局）
	6月 27日	事業報告書等の提出（電子申請）
	9月 1日	第2回中四国会長会議（岡山）
	9月 22-24日	日本診療放射線技師会学術大会（函館）
	9月 23日	全国会長会議（函館）
	10月 21日	表彰委員会・中間監査（潮江高橋病院）
	11月 11-12日	業務拡大に伴う統一講習会（高知医療センター）
	12月 1日	第3回中四国会長会議（徳島）
	12月 2-3日	CSFRT2017（徳島）
平成30年	1月 20日	香川県診療放射線技師会創立70周年記念式典（高松）
	2月 4日	高知県診療放射線技師学術大会（高知医療センター）
	2月 20日	第2回高知県死因究明等推進協議会（高知会館）
	3月 14日	次年度事業計画・収支予算書等の提出（電子申請）

5. 文書、資料（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

発信文書

○平成 29 年度理事会開催

高放技 No. 3, 6, 12, 19, 22, 25

○研修会、講習会関係等

高放技 No. 11, 16, 18, 24

○委員就任、各委員会開催、その他

高放技 No. 1, 2, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 13, 14, 15, 17, 20, 21,
23, 26

【総 括】

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき、必要書類の内閣府への提出が義務付けられ、3年前より電子申請による提出を開始したが本年度より電子申請が軌道に乗り始めた。申請には本会の公益事業の内容を正確に把握し、会計面では事業費と管理費の区別が重要であり、正確に事業と会計を把握しなければならない。

本会では毎年電子申請を行うことにより、より早期に正確な事業計画が可能となった。今後は、事業の執行の手順と記録の面でより計画的に実施できるように理事の皆様に協力をお願いする。本年度の事業内容について概要を以下に記す。

年度初の4月に期末監査を受審し、5月の理事会を経て6月の定時総会を開催した。総会後は、役員改正のため法務局への登記申請を行い、続いて事業報告書と決算報告書を電子申請した。

7月には各地区会を開催し、地区委員の選任と地区企画の勉強会や交流行事を計画して頂いた。フレッシャーズセミナーでは、診療放射線技師の基礎的資質を学んで頂き、8月にはサーべ

イメージ校正の講習会を開催した。9月にはCT基礎技術講習を開催し、11月に業務拡大に伴う統一講習会を開催した。この講習会は、診療放射線技師に医の行為が認められ、その安全を担保するため必要な知識と技術そして人格を学ぶ講習会である。また、同月にはがん患者の支援活動であるリレー・フォード・ライフに参加し、被ばく相談等を行った。

年が明けて2月には高知県診療放射線技師学術大会を開催し、3月に技師長会でExcelの応用的操作を勉強した。今年度は、年間を通じて別に6回の講習会を開催し、事業数、内容共に充実した一年であった。

【診療放射線技術学の研究ならびに調査に関する事業】公1

高知県診療放射線技師学術大会の研究発表は11演題で、高知大学医学部附属病院からの新卒技師の発表が目立った。喜ばしいことである。今後も益々若い方も経験豊かな方も、積極的な発表をお願いしたい。発表内容は、診療放射線技師の日々の検査業務と機器管理、また、最新機器をより良く使いこなす応用技術、患者の病態を評価する方法、安全の担保のための基礎的研究や電カル中心としたネットワークシステム検討など、多岐にわたり今後の私たちの業務にとって有意義な内容であった。

特別講演は、JIRA経済部会長の野口雄司先生をお招きし『2025年対応を目指した改定とはー診療報酬改定に向けての背景と考え方』と題し、国政や厚生労働省の考え方や診療報酬の仕組み、診療放射線技師の将来の役割について講義して頂いた。診療放射線技師が国民から認められる職業となり、診療放射線技師の職域・技術が診療報酬の改定に盛り込まれるためには何をすべきなのか、将来に希望を与える有意義な講演であった。

業務拡大に伴う統一講習会は、10名の参加であった。昨年度までの参加者56名と合わせても、まだ66名の受講数である。さらに受講者数を増やすため、次年度以降は2会場に拡大して開催する予定である。

今年はCT基礎技術講習会をはじめ、多くの講習会・勉強会を定期的に開催し、充実した事業内容であった。

1. 平成29年度高知県診療放射線技師学術大会 参加者 46名（内非会員6名）

日 時：平成30年 2月 4日（日）

会 場：高知医療センター 2階 くろしおホール

総合司会：西川恭平 総合受付：柳本禎久 設営本部：大野貴史

日 程

9:00～ 9:20 受 付（一般・座長・演者）

9:25～ 9:30 開会の挨拶 会長 巴 昭彦

9:30～10:30 一般演題 座長 佐々木 俊一

1. CT造影剤副作用アンケート報告&当院でのCT造影剤副作用報告

高知医療センター 和田 佳晃

2. CTストレス撮影における椎体新鮮圧迫骨折評価の有用性について

～X線単純撮影との活用～

四万十町国保大正診療所 大川 剛史

3. 局所励起を使用したT1強調variable flip angle(vfl)-3D-TSEの検討
もみのき病院 萩野 孝弥
4. 術中MR I の画質に及ぼす周辺機器の影響
高知大学医学部附属病院 澤田 昌孝
5. 腹部大動脈石灰化と下肢血管疾患との関連性
高知高須病院 吉名 佳祐
6. 小児胸部撮影における撮影条件の検討
高知大学医学部附属病院 切詰 力斗

10:35～11:05 メーカーセッション30分 司会 副会長 伊東 賢二
 演題名 『日立MRI 最新技術紹介』
 演 著 株式会社日立製作所ヘルスケア
 画像診断営業部 新井 一秀 先生

11:10～12:00 一般演題 座長 大川 剛史
 7. 当院VF検査におけるオートとマニュアル透視の被ばく線量比較
近森リハビリテーション病院 高橋 宏幸
 8. 検査スタッフが知っておきたいCT装置周辺の被ばく線量
高知大学医学部附属病院 大黒 和輝
 9. 一般撮影X線装置の表示NDD、EPD、実測値との入射皮膚線量の比較
高知大学医学部附属病院 小笠原大介
 10. 一般撮影におけるマスタ作成について
いづみの病院 和田 貴恭
 11. ネットワーク構築について～HIS更新に向けて～
高知大学医学部附属病院 湊 侑磨

12:00～12:40 昼休憩

12:45～14:15 特別講演 90分 司会 会長 巴 昭彦
 演題名 『2025年対応を目指した改定とは』
 ～診療報酬改定に向けての背景と考え方～
 演 著 株式会社日立製作所ヘルスケアビジネスユニット
JIRA経済部会長 野口 雄司 先生

14:25～14:30 閉会の挨拶 副会長 高橋 宏幸

2. 業務拡大に伴う統一講習会の開催 参加者10名 (内非会員4名)

日 程 平成29年11月11日（土）、12日（日）
 会 場 高知医療センター 1階 研修室

プログラム

1日目

08：30～09：00	受付
09：00～09：10 10	開講式・オリエンテーション
09：10～10：00 50	講義（DVD放映）静脈注射関係
10：00～10：50 50	講義（DVD放映）静脈注射関係
10：50～11：00 10	休憩

11:00～11:50	50	講義 (DVD放映) 静脈注射関係
11:50～12:00	10	休憩 (準備)
12:00～12:50	50	※実習・演習 静脈注射
12:50～13:50	60	昼休憩
13:50～14:40	50	講義 (DVD放映) 法改正
14:40～15:30	50	講義 (DVD放映) IGRT
15:30～15:40	10	休憩
15:40～16:30	50	講義 (DVD放映) IGRT
16:30～17:20	50	講義 (DVD放映) IGRT
2日目		
08:50～09:00	10	オリエンテーション
09:00～09:50	50	講義 (DVD放映) 下部消化管
09:50～10:40	50	講義 (DVD放映) 下部消化管
10:40～10:50	10	休憩
10:50～11:40	50	講義 (DVD放映) 下部消化管
11:40～12:30	50	講義 (DVD放映) 下部消化管
12:30～13:30	60	昼休憩
13:30～14:20	50	※実習・演習 下部消化管
14:20～14:30	10	休憩
14:30～15:20	50	※実習・演習 IGRT
15:20～15:30	10	休憩
15:30～16:30	60	※実習・演習 BLS
16:30～16:40	10	休憩
16:40～17:30	50	確認試験
17:30～17:40	10	解答用紙回収、確認作業
17:40～17:50	10	閉講式

3. CT基礎技術講習会 参加者：26名（内県外8名）

日 時 平成29年 9月10日（日）8:50～17:20

会 場 高知市総合あんしんセンター3階 中会議室

プログラム

08:50～	開講式・オリエンテーション		
09:00～09:45	CT 装置	一番ヶ瀬敬	GE ヘルスケアジャパン
09:50～10:35	画像再構成法	山本 晃司	高知赤十字病院
10:40～11:25	撮影技術1 (基本的撮影法1)	岡林 正光	高知生協病院
11:30～12:30	撮影技術2 (基本的撮影法2)	中村 伸治	近森病院
12:30～13:20	昼 食		
13:20～14:05	撮影技術3 (基本的撮影法3)	山中こず恵	もみのき病院
14:10～14:40	画質・性能評価・線量特性1	沖野 和弘	高知大学医学部付属病院
14:50～15:35	画質・性能評価・線量特性2	沖野 和弘	高知大学医学部付属病院
15:40～16:25	画像表示処理	岡 雅輝	高知医療センター
16:40～17:10	確認テスト		
17:10～	閉講式		

4. 第2回講習会 参加者19名（内非会員3名）

日 時 平成29年9月30日（土）14:00～17:00

会 場 高知市総合あんしんセンター3階 中会議室

演 題 「死亡時画像診断(Ai)に必要な撮影技術と画像処理技術」

講 師 大川 剛史 先生（大正診療所：本会常務理事）

5. 西南部地区画像研究会 参加者19名

日 時 平成29年11月18日（土）15:00～17:00

会 場 豊多けんみん病院 3階会議室

演題 「整形外科医から見たX線画像の注意点」
講師 出口 奨 先生（幡多けんみん病院整形外科医師）

6. 第3回講習会 中央西地区勉強会 参加者16名（内非会員3名）
日時 平成29年12月16日（土）15:00～17:00
会場 高知市総合あんしんセンター3階 中会議室
演題 「傾聴力とは」
講師 山本 典判 先生（傾聴ボランティア高知とんぼの会 会長）
7. 第4回講習会 参加者15名
日時 平成30年1月20日（土）15:00～17:00
会場 高知市総合あんしんセンター3階 中会議室
演題 『CT検査時における造影剤副作用対策』
講師 木村 英司 先生（富士製薬工業株式会社）
8. 東部地区企画講習会 参加者15名
日時 平成30年2月24日（土）14:00～16:00
会場 JA高知病院 5階 会議室
演題 『SHAPING THE FUTURE THROUGH INNOVATION』
－低侵襲なCT検査を実現するために－
講師 宮西 佐代子 先生（シーメンスヘルスケア株式会社）

9. 第5回講習会 参加者12名
日時 平成30年3月24日（土）14:00～16:00
会場 高知市総合あんしんセンター3階 中会議室
演題 『画像データを種類に分けた保存方法の提案』
－フィルムレス運用に不可欠な検像システムの機能と
読み取りレポートの参照履歴管理－
講師 小野 茂樹 先生（PSP株式会社高松支店長）

【放射線の安全管理及び放射線障害防止に関する事業】公2

放射線の安全管理と放射線障害防止に関する事業として、本会及び県下各施設保有のサーベイメータの校正に関する講習会を実施した。また、県下各施設の依頼による法定の漏洩線量測定、リレー・フォード・ライフでの医療被ばくに関する相談を行った。

1. 第1回講習会 [サーベイメータ校正] 参加者14名（10施設13台、内非会員4名）
日時 平成29年8月5日（土）15:00～17:00
会場 高知市総合あんしんセンター2階 本会会議室
校正費 10,000円／1台（会員以外の持込は20,000円／1台）
演題 ^{137}Cs 標準線源を用いたサーベイメータ確認校正講習会
講師 金川 政史 先生（住重試験検査株式会社）
2. 漏洩線量測定
①平成29年6月30日 香美市立大栃診療所
②平成29年12月11日 香美市立大栃診療所

3. 医療被ばく相談コーナー設置 参加者32名

○本会のホームページ上で、被ばく相談コーナーを常設している。

○平成29年11月3日(金)4日(土)リレー・フォー・ライフ会場で相談コーナーを設置した。

被ばく相談者 2件、スタンプラリー訪問者 27名

【診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業】公3

新卒から新入職2-3年目の技師を対象としてフレッシャーズセミナーを開催した。専門分野だけでなく、医療人としての基礎的知識としてマナー・エチケットや医療コミュニケーション、医療安全・感染対策を学ぶためのセミナーである。

また、本年度の技師長会のテーマは「Excel関数を利用する」とし、資料をもとに、VLOOKUP関数、IF関数、ピボットテーブルの使用説明が実習形式で行われた。Excelには、数多くの関数が用意されている中、実務に即戦力として使え、管理職でも使える関数を選択して実習が行われ大変参考となる内容であった。

1. フレッシャーズセミナー 参加者2名

日 時 平成29年 7月 9日 (日) 10:00~16:50

会 場 高知市総合あんしんセンター2階 本会会議室

[プログラム]

10:00~10:10	開会式	昼 食
10:10~10:40	入会案内	13:20~14:20 感染対策
10:40~11:10	マナー・エチケット	14:30~15:30 気管支解剖
11:20~11:50	医療コミュニケーション	15:40~16:40 医療安全
11:50~12:20	被ばく低減	16:40~16:50 閉会式

2. 技師長会 参加者14名

日 時 平成30年 3月10日 (土) 16:00~17:30

会 場 高知市総合あんしんセンター2階 本会会議室

演 題 Excel関数を利用する

講 師 楠瀬正哲 先生 (本会監事)

【会員の福利及び相互扶助に関する事業】

会員の相互扶助に関する事業として、診療放射線技師としての永年勤続者、本会の発展に多大な貢献がある者を表彰した。また、求人求職の対応としては本会ホームページに『求人情報』を常設し情報公開を行った。

1. 表彰委員会

委 員 高橋 正實、岡林 正光、楠瀬 正哲、清水 雅明

第1回 平成29年 4月25日 (火) 潮江高橋病院

第2回 平成29年10月21日 (土) 潮江高橋病院

2. 求人求職の対応

ホームページに掲載した。(平成29年度新規掲載分 3件)

3. レクリエーション

10月15日(日)開催予定のソフトボール大会は、雨天のため中止になった。

【その他本会の目的達成に必要な事業】

本会の目的達成に必要な事業として、年6回の理事会を開催した。
また、本会の事業を具体的に執行することを目的に常務理事会を開催した。更に、事業の周知と各地区の活動を円滑に実施するため各地区会を開催した。
本会の事業の広報と情報発信のため技師会だよりを毎月発行した。
その他、本会ホームページの充実を図り、放射線に関するイベントに参加し、関連団体の会議に出席し連携強化を図り、放射線技術学の発展のため各種研究会の後援を行った。

1. 技師会だより

- 毎月発行した
- 地区活動の報告を掲載した
- 企画・学術教育・地区活動等、各部よりの文書を掲載した
- 会員からの投稿を掲載した
- 配布方法は、Eメール配信、配達、郵送の3種類とした
- 会紙の内容を高放技ホームページ上で公開した
- リレーエッセイを連載した
- 「新入会員いらっしゃい」を連載した

2. 地区会

- 平成29年 7月 1日 西南部 (A, B) 木俣病院
- 7月 14日 西 部 (C, D) 土佐市民病院
- 7月 22日 中央西 (E, F, G) 健康カフェとりごえ
- 7月 27日 中央南 (H, I) 高知医療センター
- 7月 5日 中央東 (J, K) 高知赤十字病院
- 7月 11日 東 部 (L, M) JA高知病院

- 地区活動部会 8月26日 (土) 本会会議室

3. 広報活動

- 高放技ホームページによる広報活動を充実した

4. サーベイメータ貸出サービス

- 件数 15件 延べ貸出日数 75日

5. リレー・フォー・ライフ in 高知 2017

- 平成29年11月 3日 (金) 4日 (土) 高知大学医学部グラウンド
 - ・チーム紹介にて高知県診療放射線技師会の紹介を行った
 - ・24時間ウォーキングラリー参加
 - ・CS9の高知県の活動として血管模型の展示、放射線や解剖に関するクイズを出した

6. 総会運営委員会

委員長 竹中俊之

委 員 佐野友彦、尾立由圭、高橋良幸、渕上伸一、西内恒太郎

第1回 平成29年 6月18日 (日) 高知市総合あんしんセンター 大会議室

委員長 尾立隆史

委 員 池田憲昭、岡 雅輝、高橋良幸、永井敏久、竹村真一

第2回 平成30年 3月24日 (土) 高知市総合あんしんセンター 本会会議室

7. 選挙管理委員会

委員長 吉永 優一

委 員 廣瀬 博文、森 亮輔、建沼 叡秀、永井 敏久

第1回 平成29年 6月18日 (日) 高知市総合あんしんセンター 大会議室

②平成 29 年度決算報告

第 1 号議案

別添の決算報告書をご参照ください。

平成 29 年度監査報告

第 2 号議案

監査報告書

平成 29 年度 監査報告

本年度の会務および会計監査を、平成 30 年 4 月 24 日 潮江高橋病院に於いて実施した。監査の方法および結果を下記の通り報告する。

記

1. 会務について

平成 29 年度事業計画に基づいた会務の執行状況および議事録、回議書等関係書類を監査した。

監査の結果、会務は適正に執行されており、各関係書類は正確に整理されていた。

2. 会計について

平成 29 年 4 月 1 日から本会計年度における帳簿ならびに関係書類等財務処理業務を監査した。

監査の結果、会計帳簿は正確に記載され、関係書類は適正に整理保管されていた。

以上

平成 30 年 4 月 24 日

監事 清水 雅明

監事 大内 達也

【総 括】

本会は、定款第2章の『目的および事業』の内容に基づき、時代の要請を受け、理事会で協議し会務を執行する。その目的は公益事業として県民保健の維持発展に寄与することであり、①放射線技術学の研究、②医用放射線の安全管理、③放射線の専門家ならびに医療人として資質の向上を図り、技術や能力を社会に還元することを基本としている。

本会は公益社団法人としての使命を全うし、職業団体として診療放射線技師の倫理を高揚するとともに、医用放射線の安全利用に関する知識の普及啓発、および診療放射線学の向上発展を図り、もって県民保健の維持発展に寄与することを目的に事業を推進する。

事業の3本柱として【公1】診療放射線技術学の研究ならびに調査に関する事業【公2】放射線の安全管理および放射線障害防止に関する事業【公3】診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業を標記している。

これら公益事業を遂行するため、医療技術・画像診断の講習会、高知県診療放射線技師学術大会、一般撮影基礎講習会を開催し、診療放射線技師法改正に伴い拡大された業務内容に対応するため、公益社団法人日本診療放射線技師会主催の『業務拡大に伴う統一講習会』を昨年に引き続き、本年は2箇所で開催する。

また、医用放射線の安全管理のため、サーベイメータ校正講習会、被ばく相談等を実施し、診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業として、新人技師を対象としたフレッシャーズセミナー、技師長会を開催する。

さらに、高知県死因究明等推進協議会に参画し、A iに関する診療放射線技師の役割と死因究明を推進する活動に協力する。

広報活動は、本会ホームページの充実を図ることにより『放射線高知』の発行を休止した。また、今後『技師会だより』についても検討する。

その他会員の福利・相互扶助に関する事業と、本会の目的達成に必要な事業も適時開催し、会員相互の連携を深め、高知県下の医療関連団体等との交流・連携を保ち、研究会等の後援活動にも意欲的に取り組んでいく。

【診療放射線技術学の研究ならびに調査に関する事業】公1

診療放射線技師は安全かつ質の高い医療を提供する重要な役割を担っており、高度先進医療に即応し、診療放射線業務に関して常に研鑽している。公益社団法人高知県診療放射線技師会は、業務拡大に伴う検査と行為について安全を担保するため講習会を開催し、習得すべき知識と技術の基準を明確にし、それにより得られる医療人としての資質の向上をもって県民の健康増進、および保健衛生の向上に貢献する。

また、日本診療放射線技師会の委託事業や高知県学術大会を開催し、本会会員のみならず全ての診療放射線技師の質の向上と自己研鑽により、適切な医療を県民に提供し、社会の要請に応えていく。

○ 学術大会の実施

本会の定款第3条（目的）を達成するため、日常の診療放射線業務における創意工夫や、診療放射線学の研究の成果を発表し、最新の診療放射線技術、および装置に関する知識を深め、診療放射線学の向上発展と県民保健の維持発展に寄与することを目的に本年も開催する。

○ 研修会・講習会の実施

日常的に診療放射線技師として習得する必要性の高い撮影技術を中心に、研修会や講習会を開催する。公益社団法人日本診療放射線技師会の委託事業として、本県4年目の『業務拡大に伴う統一講習会』を平成30年7月15日-16日に高知市で、平成31年2月23日-24日に四万十市で開催する。また、一般撮影基礎技術講習会は平成30年11月11日に開催する。

○ 調査活動

本県の診療放射線技師の現状把握ならびに職業意識の向上を目指すために様々な調査活動を行う。

情報収集が必要な案件についてはアンケート調査等を実施し、学術大会にて報告する。

○ その他

その他必要に応じて、診療放射線技術学の研究および調査に関する事業を実施する。

次年度のCSFRT2019の高知県開催のため、CSFRT2018への視察と宣伝活動を計画する。

【放射線の安全管理および放射線障害防止に関する事業】公2

放射線の安全管理は、法律を遵守して安全確実に実施しなければならない。法定の漏洩線量測定等についても、測定器の精度管理および放射線防護の方法等も含め周知徹底する。

また、放射線の被ばく低減、被ばく相談、放射線の安全管理に関する啓発活動等も診療放射線技師の専門分野として実施する。

○ サーベイメータ校正事業

会員施設に限らず、県内施設のサーベイメータを対象として、住重試験検査株式会社技術者の指導のもとに各自で校正を行う。放射線の安全防護と放射線測定の正しい知識を習得し、正確な測定法を学び、正しく校正されたサーベイメータでの漏洩線量測定の意義を学習するため毎年1回実施する。

○ 漏洩線量測定の実施

会員施設に限らず、放射線使用施設の求めに応じて放射線の安全管理のために法定の漏洩線量測定を実施する。

○ 被ばく相談等の対応

県民の放射線に関する相談に本会事務所の電話およびホームページを使って対応する。また医用放射線の安全利用に関する知識の普及啓発のため、各種イベント(リレー・フォー・ライフ等)でも被ばくに関する相談コーナーを開設する。

○ その他

本会の定款第3条(目的)を達成するため、その他必要に応じて、放射線の安全管理および放射線障害防止に関する事業を実施する。

公益社団法人日本診療放射線技師会の推進する『医療被ばく低減施設』の認定に向けての活動を検討する。

【診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業】公3

診療放射線技師は、チーム医療の一員として患者中心の医療を目指している。チーム医療の

実践と責任を果たすため、資質向上と職業倫理を高揚し県民の保健医療の向上に貢献する。

新人教育としては、フレッシャーズセミナーを開催し、医療人として必要不可欠な研修を行う。また、管理職等を対象とした技師長会では、管理者の立場での交流と、人員育成や業務マネジメント等をテーマに会議および懇話会を開催する。

○ フレッシャーズセミナー

フレッシャーズセミナーは、医療人としての基本的な資質と知識を身につけ、県民に対して安全かつ安心な医療を提供し、社会の要望に応えていくためのセミナーである。今年度は7月8日を予定しており、エチケットマナー学・コミュニケーション学・医療安全学・感染対策学、基礎解剖学および放射線防護学等を講義する。

○ 技師長会

放射線技術部門を管理する立場にある者、およびこれに準ずる役職者を対象に開催している会である。日々の医療業務や管理業務で生じる課題等を主題とし、それぞれが培った知識と経験から、討論や意見交換をおこなっている。この技師長会は、放射線技術部門の管理者（中間管理者を含む）としての能力水準維持と向上心を養うために毎年3月に開催を予定している。

○ その他

本会の定款第3条（目的）を達成するため、その他必要に応じて、診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業を実施する。

【会員の福利および相互扶助に関する事業】

本会事業を行う上で会員相互の連携を強化するため福利厚生は必要不可欠な事業であり、地区ごとに事業を起案し、会員の相互協力のもと実行している。

また、求人求職活動については従来どおりホームページ上で紹介する。

表彰に関しては表彰委員会の答申を受けて推挙する。

○ 表彰関連事業

表彰委員会にて叙勲、県知事表彰等の受賞候補者を推薦する。
勤続25年表彰を行う。

○ 求人求職に関する事業

ホームページで紹介する。

○ レクリエーション

各地区会にて起案し、会員の相互協力のもと実行する。

○ その他

【その他本会の目的達成に必要な事業】

本会の運営と活動を行うために、常務理事会および理事会は、欠かせない重要な会議であり、本会の定時総会の決定を受け、各地区会も順次開催して事業の展開にあたる。

また、分かりやすい広報活動をめざし、情報公開と案内の手段としてホームページの益々の充実に注力する。さらに、漏洩線量測定等、環境測定のため、サーベイメータを必要に応じて会員に貸出しをする。

その他の本会の目的達成に欠かせない事業について検討し、必要な行事についても積極的に参加協力する。その一環として『放射線被ばく相談員』養成の補助について検討し、がん対策の支援活動であるリレー・フォー・ライフに参加協力したい。

○ 理事会、常務理事会、各種委員会の開催

本会の定款第4条（事業）を推進するために、業務執行の決定機関として年4～6回の理事会を開催する。また、常務理事会は、本会の事業を具体的に執行することを目的に原則として毎月1回開催し、理事会の決定事項に従って事業執行にあたる。各種委員会は、本会を運営するために必要に応じて会長が設置する。

○ 地区会・地区活動部会の開催

本会総会の後に各地区会員の開催希望日に合わせて各地区会を開催し、総会決定の周知と地区独自の計画を立てる。また、各地区の活動が円滑に進むよう、地区活動部会を開催する。

○ 技師会だよりの発行

本会事業の発信と記録、交流の場として今年度も毎月発行する。しかし、ホームページにも同じ内容がすべて掲載されていることから、紙ベースの技師会だより役割を再検討したい。

○ ホームページの充実

担当理事を増員して掲載内容をより充実させ、本会のすべての情報を閲覧できるように工夫したい。また、常に新しい情報を発信すると共に県民の被ばく相談等の窓口としての機能も果たす。また、贊助企業のバナーを作成し、ホームページリンクも実施する。

○ サーベイメータ貸出サービス

会員を中心に無料でサーベイメータを貸出し、放射線の安全管理に役立てる。

○ 放射線被ばく相談員等の養成の補助

『放射線管理士および放射線被ばく相談員助成制度規程』の制定について協議する。
放射線被ばく相談員等の養成については、定時総会で説明し、了解を得た上で次年度以降に実施したい。

○ リレー・フォー・ライフへの参加

準備委員会から参加し事業の広報活動と集客に努める。
本会からは放射線に関するパネル展示や医療被ばく相談を行い県民のニーズに応える。

○ 全国会長会議、関連団体会議への出席、関連団体との連携強化

本会事業の充実、チーム医療の推進のため関連団体との連携強化に努める。
高知県死因究明等推進協議会の委員として出席し、高知県医療行政に助力する。
高知県総合保健協会の評議員として県民保健の維持発展に助力する。

○ 各種研究会等の後援

診療放射線技術学の専門分化に対応するために各種研究会を後援する。

○ その他

平成30年度収支予算

第3号議案

平成30年度 収支予算書[正味財産増減計算ベース]

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

科 目	平成30年度予算	平成29年度予算	増 減	内 訳					合計		
				実施事業等会計			その他会計	法人会計			
				診療放射線技術の研究ならびに調査に関する事業	放射線の安全管理及び放射線障害防止に関する事業	診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業					
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
基本財産受取利息	0	0	0				0	0	0		
受取会費	1,608,000	1,580,000	28,000	298,000	230,000	190,000	150,000	868,000	100,000		
本年度会費 228×6000	1,368,000	1,320,000	48,000	268,000	200,000	160,000	120,000	748,000	100,000		
賛助会費	240,000	260,000	▲ 20,000	30,000	30,000	30,000	30,000	120,000	0		
事業収益	240,000	220,000	20,000	0	40,000	50,000	60,000	150,000	0		
広告収益	120,000	80,000	40,000			60,000	60,000		60,000		
事業受託費	120,000	140,000	▲ 20,000	0	40,000	50,000		90,000	30,000		
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
寄付金収入	0	0	0				0		0		
雑収益	0	3,000	▲ 3,000	0	0	0	0	0	0		
受取利息	0	0	0				0		0		
雑収益	0	3,000	▲ 3,000				0		0		
経常収益計	1,848,000	1,803,000	45,000	298,000	270,000	240,000	210,000	1,018,000	100,000		
(2) 経常費用											
事業費支出	1,018,000	965,000	53,000	298,000	270,000	240,000	210,000	1,018,000			
会議費	50,000	50,000	0	15,000	20,000	15,000		50,000	50,000		
旅費交通費	173,000	125,000	48,000	93,000	40,000	40,000		173,000			
通信費	100,000	100,000	0	40,000	30,000	30,000		100,000	100,000		
印刷製本費	240,000	240,000	0	80,000	80,000	80,000		240,000	240,000		
貢賄料	100,000	100,000	0			100,000	100,000		100,000		
諸謝金	180,000	180,000	0	60,000	70,000	50,000		180,000			
消耗品費	80,000	80,000	0			80,000	80,000		80,000		
他団体との情報交流費	85,000	80,000	5,000	10,000	30,000	25,000	20,000	85,000			
広報費	10,000	10,000	0			10,000	10,000		10,000		
租税公課	0	0	0			0	0		0		
減価償却費	0	0	0		0		0		0		
福利厚生費	0	0	0				0		0		
雑支出	0	0	0				0		0		
管理費支出	830,000	838,000	▲ 8,000					100,000	730,000	830,000	
会議費	40,000	40,000	0					40,000	40,000		
旅費交通費	130,000	130,000	0					130,000	130,000		
通信費	120,000	124,000	▲ 4,000						120,000	120,000	
印刷製本費	100,000	100,000	0					100,000	100,000		
貢借料	90,000	90,000	0					90,000	90,000		
消耗品費	70,000	70,000	0					70,000	70,000		
他団体との情報交流費	40,000	40,000	0					40,000	40,000		
広報費	10,000	10,000	0					10,000	10,000		
事務局費	70,000	70,000	0					70,000	70,000		
税理士顧問料	54,000	54,000	0					54,000	54,000		
減価償却費	0	0	0					0	0		
福利厚生費	100,000	100,000	0				100,000		100,000		
租税公課	6,000	4,000	2,000					6,000	6,000		
雑支出	0	6,000	▲ 6,000					0	0		
経常費用計	1,848,000	1,803,000	45,000	298,000	270,000	240,000	210,000	1,018,000	100,000	730,000	1,848,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0				0			0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0				0			0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益	0	0	0								0
中科目別記載											0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0								0
中科目別記載											0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0					0		0	0
当期一般正味財産増減額	0							0		0	0
一般正味財産期首残高	748,220	868,294	▲ 120,074					0		748,220	748,220
一般正味財産期末残高	748,220	868,294	▲ 120,074	0	0	0	0	0	0	748,220	748,220
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金等								0		0	0
・・・・・								0		0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0					0		0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	748,220	868,294	▲ 120,074	0	0	0	0	0	0	748,220	748,220

※一般正味財産期首残高及び一般正味財産期末残高は、法人会計欄に記載しています。